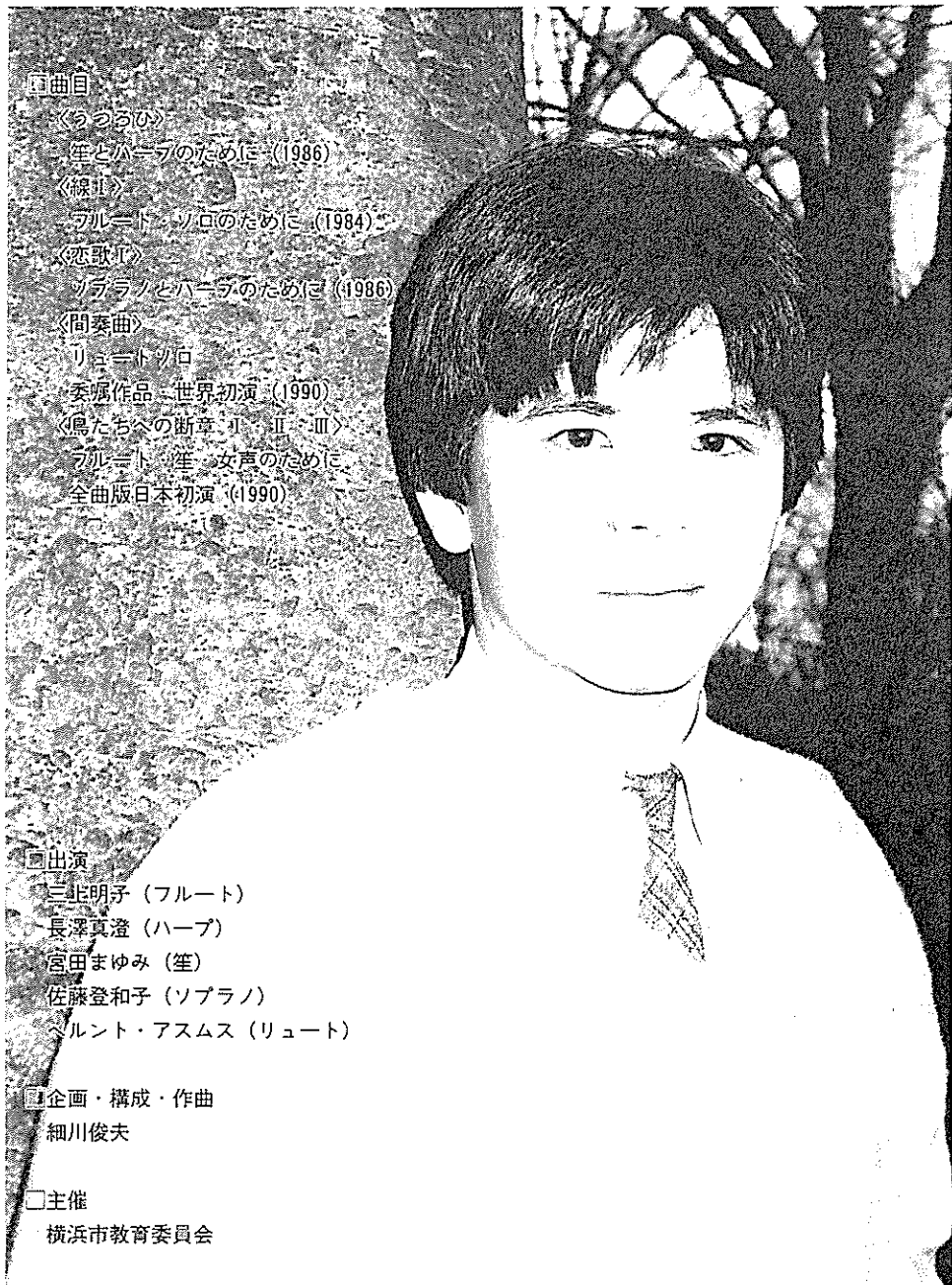


細川俊夫作品展



■曲目

- ＜わづらひ＞
- ＜笙とハープのために＞(1986)
- ＜線1＞
- ＜フルート・ソロのために＞(1984)
- ＜恋歌1＞
- ＜ソプラノとハープのために＞(1986)
- ＜間奏曲＞
- リユートソロ
- 委嘱作品・世界初演(1990)
- ＜鳥たちへの断章 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ＞
- フルート・笙・女声のために
- 全曲版日本初演(1990)

■出演

- 三井明子(フルート)
- 長澤真澄(ハープ)
- 宮田まゆみ(笙)
- 佐藤登和子(ソプラノ)
- ベルント・アスムス(リユート)

■企画・構成・作曲

細川俊夫

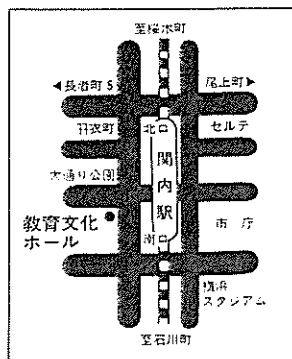
■主催

横浜市教育委員会

'91 **3月29日(金)** 午後7時開演
横浜市教育文化ホール

■申込方法

往復はがきに住所・氏名・年令・電話番号・コンサート名を記入して
 〒231 横浜市中区万代町1-1 横浜市教育文化センター文化事業課へ。
 応募多数の場合は抽選で500人無料招待。締切'91年3月9日(土)必着。
 中学生以上の方に限ります。1枚のはがきで1人ずつ申込んで下さい。
 開場は午後6時30分。◎問合せ 文化事業課 ☎045-671-3714~5



日本の作曲家シリーズは、現代日本の優れた作曲家とその作品を紹介するため、毎年3月、作曲家に新作とプロデュースを依頼して行っているコンサートです。14回目の今回は、日本の若手作曲家の中でいま最も注目を集めている細川俊夫さんです。

ヨーロッパを中心に活躍する細川俊夫の旧作から最新作までを集めた音の個展。すでに世界各国で演奏されている代表作「線」、「うつろひ」、「恋歌」に、この4月パリのポンピドゥーセンターで全曲フランス初演される「鳥たちへの断章」、そして前衛生け花の巨匠中川幸夫の花に触発されてルネッサンス・リュートのために書かれた新作「間奏曲」の初演がなされる。

細川俊夫:1955年生まれ。76年から87年までドイツにおいて作曲を学ぶ。ユン・イサン、クラウス・フーバーに師事。数多くの国際作曲賞を受ける。ヨーロッパの様々な音楽祭に招待され作品を発表する。(ダヴォス音楽祭88/89、クフモ音楽祭89、ワルシャワの秋90、ミラノ現代音楽祭90、メッツ現代音楽祭90、ダームシュタット国際夏期講習会90、他)。91年4月から、ベルギー現代音楽研究所に招かれイタリアに滞在する。

主要作品:オーケストラ曲/「プレリューディオ」(82)、「遠景Ⅰ」(87)、「ベル・ソナーレ」(88)、「ヒロシマクレイエム」(89)。室内楽曲/「恋歌」Ⅰ(86)、Ⅱ(87)、Ⅲ(90)、「断章」Ⅰ(88)、Ⅱ(89)、Ⅲ(89)他。映画音楽/「死の棘」(小栗康平監督作品)。